

人と暮らしの 伊那谷遺産 プロジェクト

目的は

伊那谷には美しくも厳しい自然風土の中で、土木のものづくりを工夫して生活を営んできた先人の足跡が多く残されています。土木のものづくりを振り返ることで先人が向き合ってきたことを再確認し、継承していくことは、地域の皆さんが地域課題を一つひとつ克服していくうえで役立つものと考えました。天竜川河川事務所が進める治水・河川管理等の取り組みについて、これらの先人の営みを踏まえて整理し、情報発信していくことで、防災教育や地域振興をより効果的に支援していきます。

プロジェクトの内容

1

「人と暮らしの伊那谷遺産
プロジェクト選定委員会」
の開催

2

選定した
「伊那谷遺産」の公表

3

「伊那谷遺産」を
防災教育や地域振興などの
様々な分野で活用

遺産の選び方

委員会を開催します

学識者、郷土研究家、地方自治体職員などで構成する選定委員会を開催し、遺産の選定や活用方法を検討します。



基準があります

●選定の範囲

原則として上伊那地域及び飯伊地域の 22 市町村とし、関連する周辺地域より選定することを妨げないものとする。

●選定の基準

次のいずれかを満たしていなければならない。

- ①土木工学的な工夫が認められる遺構
- ②自然史や自然災害の歴史を示すもので後世に引き継ぐべきもの
- ③地域住民が生活していくうえで、努力や工夫をしなければならなかった背景が判るもの

●除外の基準

- ①伝承のみで実体がないもの
- ②信仰の対象であることしか認められないもの
- ③著名な災害にまつわるもの以外の碑

100 件を目指します

平成 25 年 7 月現在、79 件認定。100 件を当面の目標として、今後検討します。

選んだ理由は？



例) 名古屋の水除け (なごやまのみずよけ)

- ・所在地：飯田市南和田名古屋山
- ・築造年：江戸時代
- ・該当する基準：③

水害や土砂災害に適応してきた先人の足跡を体感できるものとして選定。

昭和の初めの土石流でも家を守った実績がある



例) 上蔵砂防堰堤 (わざさほうえんてい)

- ・所在地：大鹿村大河原
- ・築造年：昭和 29 年
- ・該当する基準：①

土木工学的な工夫がみられるものとして選定。平成 21 年には国有有形文化財に登録された。

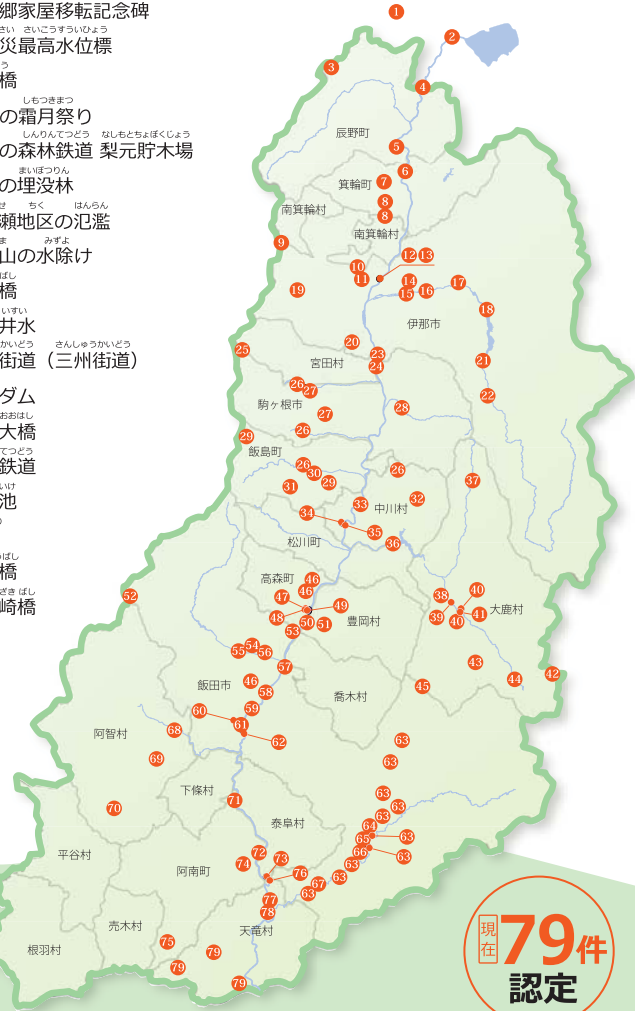
小渋川に築かれた堤高 23m のアーチ式コンクリート造堰堤

これまでに選ばれた伊那谷遺産

- 1 善知鳥峠
- 2 びつたら橋
- 3 牛首峠
- 4 東天竜一貫水路
- 5 北の沢眼鏡橋
- 6 伊那路橋
- 7 (旧)深沢川水路橋
- 8 西天竜幹線水路 円筒分水工群
- 9 木曾山用水
- 10 西天竜幹線水路 流末の階段工 (小沢のそろばん滝)
- 11 御子柴艶三郎による井戸
- 12 入舟船着場
- 13 大橋
- 14 さんよりこより
- 15 霞堤
- 16 伝兵衛五井
- 17 虹橋
- 18 美和ダム
- 19 伊那市の小黒発電所
- 20 伊那市諏訪形の猪垣
- 21 三峰川の森林鉄道跡
- 22 粟沢川掘り抜き
- 23 北の城橋
- 24 大久保発電所
- 25 千畳敷カール
- 26 田切地形
田切地形のビューポイント
- 27 太田切川の井筋
- 28 濁流の子～伊那谷災害の歴史 (出版物)
- 29 百間ナギ/
百間ナギのビューポイント
- 30 千人塚公園 城ヶ池
- 31 日向澤砂防堰堤
- 32 四徳集落跡
- 33 坂戸橋
- 34 お志茂の水除け
- 35 理兵衛堤防
- 36 小波ダム
- 37 北川集落跡
- 38 大西山崩壊地
- 39 小波橋
- 40 鷹ヶ巣大崩壊地/
鷹ヶ巣大崩壊地のビューポイント
- 41 上蔵砂防堰堤
- 42 荒川大崩壊地
- 43 茶臼ナギ
- 44 七釜砂防堰堤
- 45 地藏峠
- 46 竜西一貫水路
- 47 三界萬壘塔/六地藏
- 48 夜泣き地藏/出砂原の大石
- 49 惣兵衛堤防
- 50 伴野堤防
- 51 竜東一貫水路
- 52 太平峠
- 53 座光寺石川除
- 54 めがね橋 (長姫橋)
- 55 松川プール
- 56 夜泣き石
- 57 河原弁天 (後ろ向き弁天)

- 58 南原橋
- 59 時又港
- 60 川路郷家屋移転記念碑
- 61 三六災最高水位標
- 62 姑射橋
- 63 遠山の霜月祭り
- 64 遠山の森林鉄道 梨元貯木場
- 65 遠山の埋没林
- 66 夜川瀬地区の氾濫
- 67 名古屋の水除け
- 68 中之橋
- 69 恩田井水
- 70 伊那街道 (三州街道)
- 71 泰阜ダム
- 72 南宮大橋
- 73 三信鉄道
- 74 深見池
- 75 雪祭
- 76 天竜橋
- 77 羽衣崎橋

- 78 平岡ダム
- 79 天龍村の霜月神楽



現在 **79件**
認定



活用 1 皆さんに広く知ってもらいます



報道機関への
呼びかけ

地元テレビ局、新聞社、
企業広報担当部局などに
連携を呼びかけました。



ラジオ放送で PR

SBC 信越放送ラジオ番組で伊那谷遺産の紹介や
地域に連携を呼びかけました。

地元新聞への連載や
関連機関誌に掲載

伊那谷の地元新聞への
連載が開始されました。
また、天竜川上流河川
事務所発行の各出張所
通信や、天竜川総合学
習館「かわらんべ」広
報にて、伊那谷遺産を
紹介しました。



活用 2 参加型イベントを手助けする資料を提供します

伊那谷デジタルコモンズの整備

伊那谷遺産に関する情報を集積したデータベースを天竜川上流河川事務所のホームページに整備しています。パブリック・ドメイン（共有財）として、誰でも自由に利用して頂けます。

説明資料、google 地図情報等を
参照するQRコード→



説明資料



google 地図情報



デジタルガイドマップ 現在作成中



画面に表示された場所の目印
をタッチすると、史跡などの
ランドマークに関する説明や
写真、観光情報を見ることが
できます。
地図を見ながら伊那谷遺産を
散策することができます。

活用 3 災害教訓を伝承する仕組みをつくります



『濁流の子』を伊那谷遺産に選定しました。
災害教訓伝承活動のシンボリックな存在として、
災害を伝える書籍や写真などを収集・整理する
活動を進めます。

●濁流の子～伊那谷災害の歴史

三六災害をまのあたりにした小学生、中学生、高校生らの作文をまとめた
文集。1964年（昭和39年）に発行された。

コラム フェイスブックでも
情報発信しています



『人と暮らしの伊那谷遺産』の
写真や取り組みを発信してい
ます。

